

# 2010年度2Q決算の概要

2010年10月28日  
住友金属工業株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

なお、本資料中、「粗鋼生産量」「鋼材販売量」「鋼材平均価格」と記載しているものは、(株)住友金属小倉、(株)住友金属直江津、(株)住金鋼鉄和歌山を含んだ数値となっております。

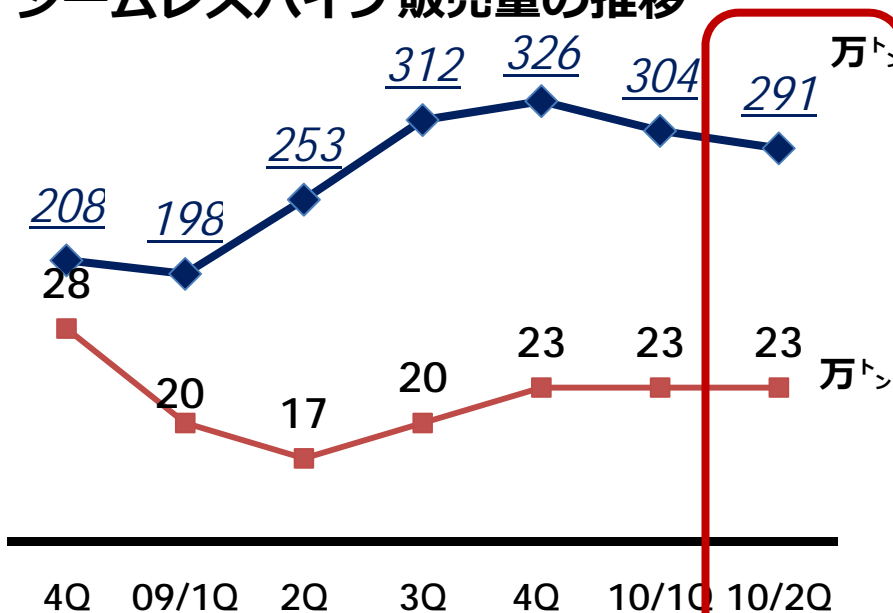
資料中のEBITDAは、営業利益+減価償却費（有形）で算定しております。

# 10年度2Q決算ハイライト

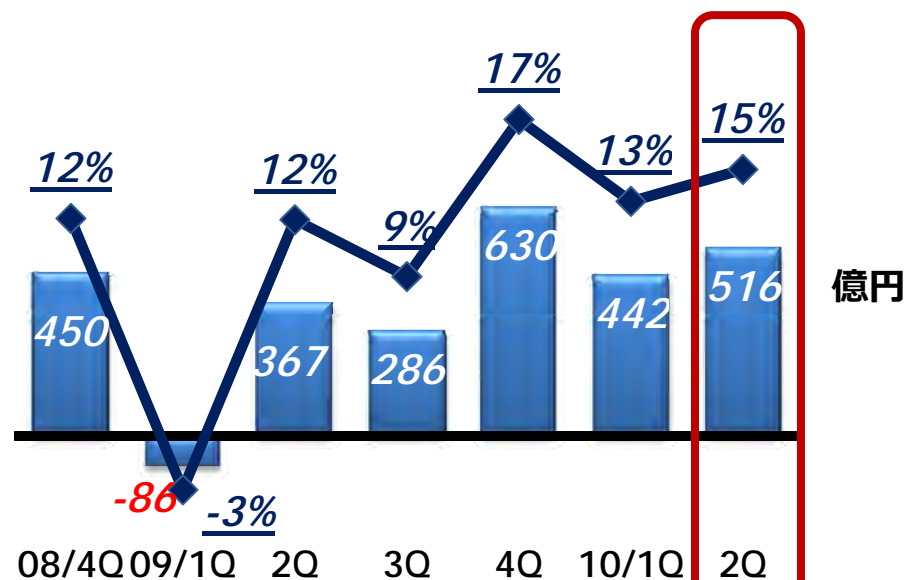
	2Q累計	(前年同期比)
● 売上高	6,937億円	(950億円)
● 営業利益	347億円	(628億円)
● 経常利益	289億円	(765億円)
● 当期利益	348億円	(815億円)
● EBITDA	958億円	(676億円)

- 上期の製造業向け需要は堅調、エネルギー向け需要も緩やかに回復
- 円高影響や汎用品の減産により予想対比で売上高は減少したが、販売改善等により収益は超過達成

## 全社販売量と シームレスパイプ販売量の推移



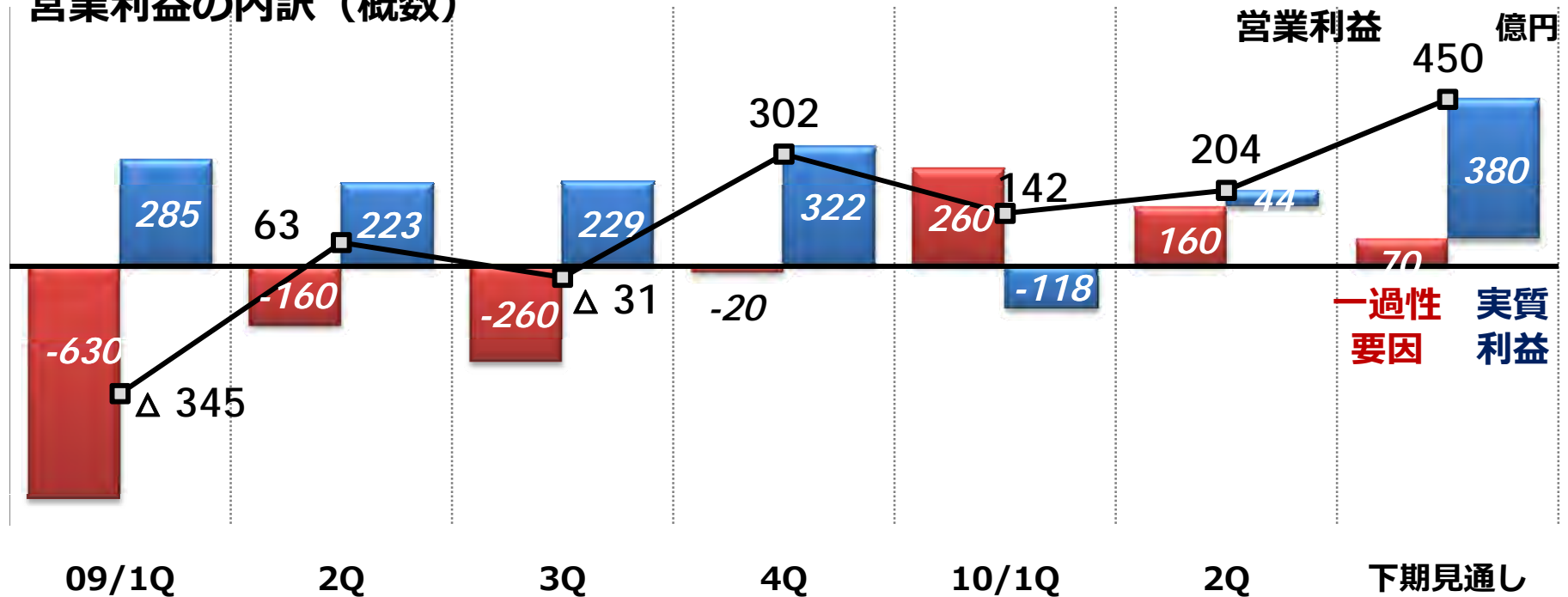
## 四半期別EBITDAと EBITDAマージン推移



# 10年度通期業績見通し

- 汎用品を中心とした需給軟化等により、市況改善は全般的に足踏み状態
- 製造業向け出荷は堅調、建材や輸出薄板は需要見合いの販売を継続
- 原材料キャリーオーバーや在庫評価益等の一過性のプラス要因は、上期対比で縮小するが、価格改善やコスト改善の進展に伴い、実質損益は徐々に改善
- シームレスパイプは価格優先の受注方針を堅持、通期販売量見込みは95万トﾝ（前回予想通り）
- 通期営業利益見込みは、汎用品市況下落影響等を鑑み、前回予想より100億円の方修正

営業利益の内訳（概数）



# 2010年度2Q決算実績

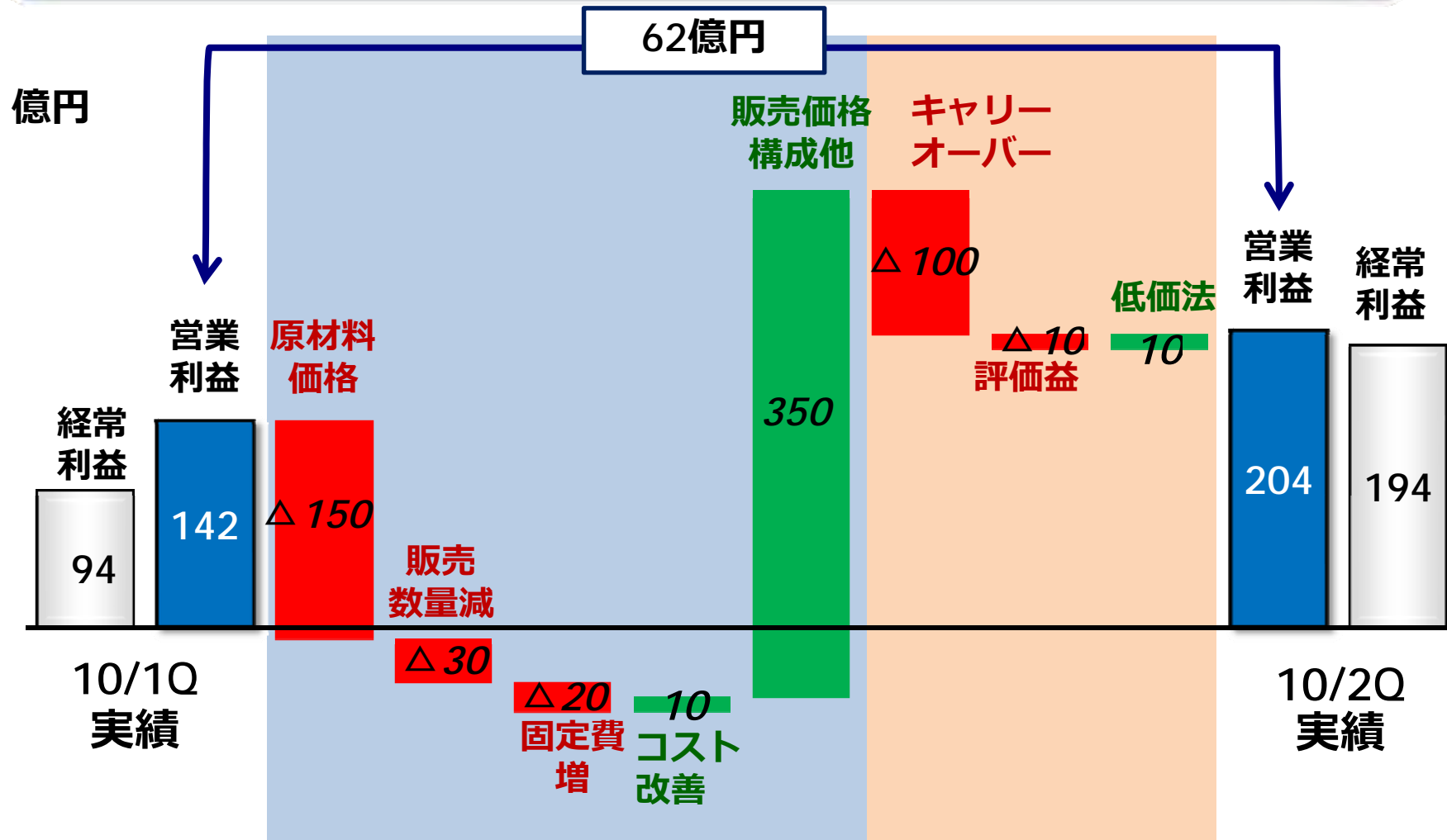
# 10年度上期決算概要

6

億円	09				7/29 見通し	10上期	増減	
	上期	下期					前年上期比	前下期比
			1Q	2Q				
売上高	5,987	6,871	3,416	3,521	[7,200]	6,937	950	66
営業利益	△280	271	142	204	[300]	347	628	76
経常利益	△476	109	94	194	[250]	289	765	179
特別損益	△31	-	-	-	[ - ]	-	31	-
法人税等 少数株主損益	40	△140	△50	109	[ - ]	59	18	199
当期純利益	△466	△30	44	304	[250]	348	815	379
1株当り 純利益(円)	△10.07	△0.67	0.97	6.56	[5.39]	7.53	17.59	8.19
EBITDA (億円)	282	917	442	516	[920]	958	676	41
為替レト (円/\$)	95	90	92	86	[91]	89	6円高	1円高

# 営業利益増減 (10/1Q→10/2Q)

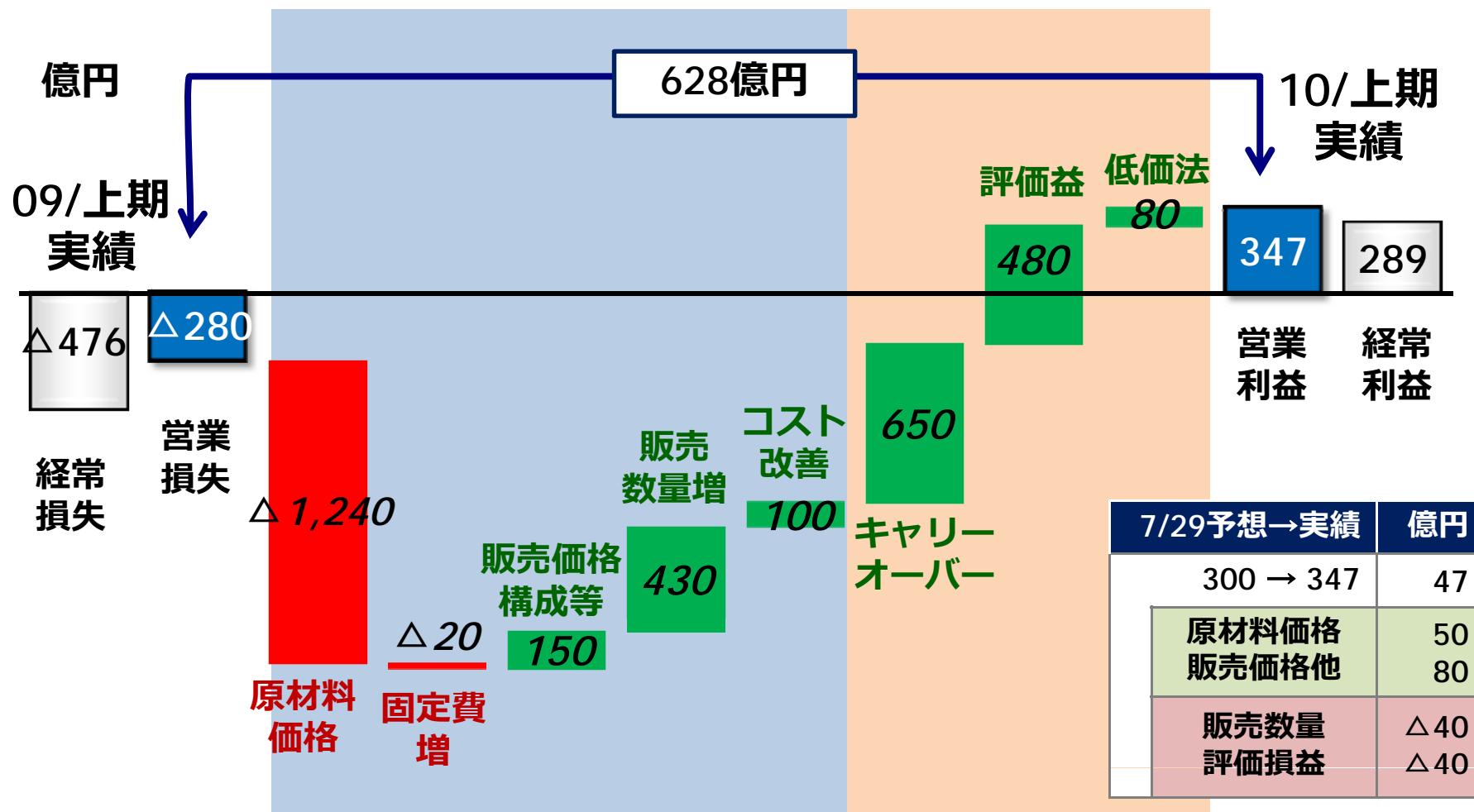
1Qに続いての原材料価格高騰や建材等の販売減はあったが、販売価格改善の進行等により収益は改善



●持分法損益 <10/1Q> 12億円 → <10/2Q> 43億円

# 営業利益増減 (09/上期→10/上期)

営業利益は、コスト改善や販売数量の回復に加え、キャリーオーバー・評価益等の一過性要因影響もあり大幅に改善



●持分法損益 <09/上期> △117億円 → <10/上期> 55億円



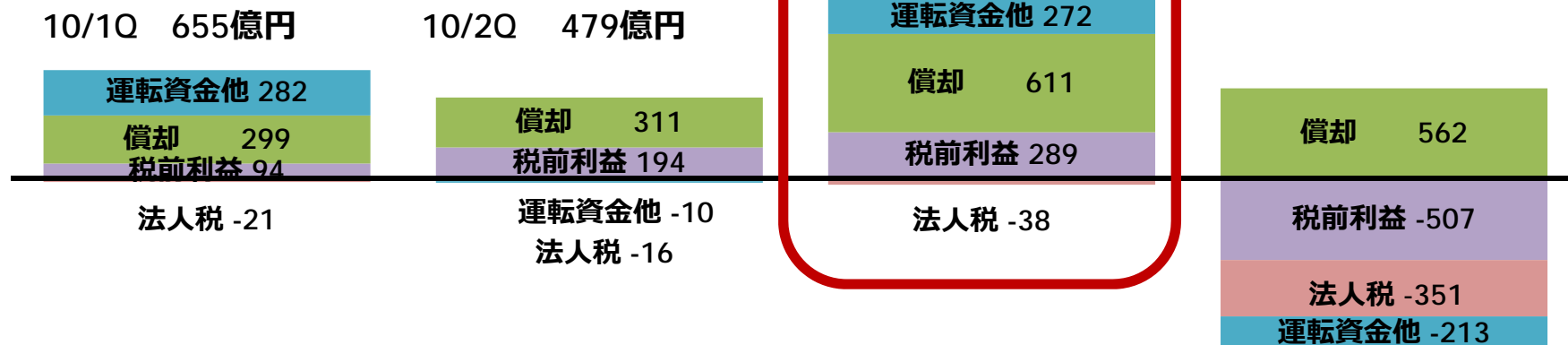
# 10/9E BS概況

- 営業CFの改善に伴い、借入金は減少
- D/Eレシオは有価証券の評価差額金の減少等により3末比横ばい

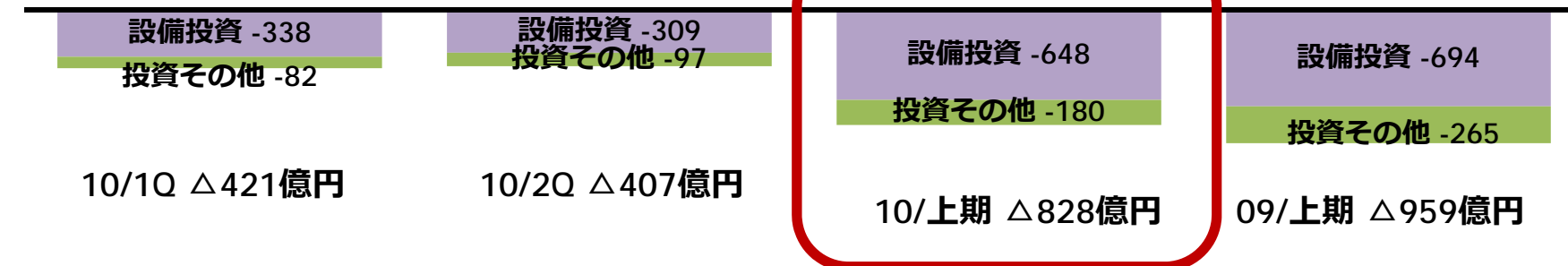
億円	09		10			%	10/3E 増減
	9E	12E	3E	6E	9E		
【資産】							
流動資産	6,394	6,529	6,064	6,079	6,226	2.7	161
固定資産	17,725	17,954	17,972	17,754	17,752	△1.2	△220
資産合計	24,120	24,483	24,036	23,834	23,978	△0.2	△58
【負債および純資産】							
流動負債	5,971	6,784	6,393	6,661	6,615	3.5	222
固定負債	9,408	9,119	8,851	8,716	8,679	△1.9	△171
純資産	8,740	8,579	8,792	8,456	8,682	△1.2	△109
借入残高	11,487	11,774	11,383	11,280	11,170	△1.9	△212
D/Eレシオ	1.39	1.46	1.37	1.42	1.37		-

# 10/上期 キャッシュフローの状況

## 営業キャッシュフロー



## 投資キャッシュフロー



	09/9E	09/12E	10/3E	10/6E	10/9E
借入金	11,487 億円	11,774 億円	11,383 億円	11,280 億円	11,170 億円
現預金	210 億円	226 億円	262 億円	236 億円	189 億円
ネット借入金	11,276 億円	11,547 億円	11,121 億円	11,043 億円	10,981 億円

# 2010年度見通し

# 10年度 業績見通し概況

汎用品市況の下落傾向等を織込み、営業利益・経常利益は前回予想対比100億円の下方修正

※見通しは全て概数

億円	09年度	10年度		上期	下期 見通し	〔7/29 見通し〕	10年度 見通し	年度 増減	7/29 見通し との増減
		1Q	2Q						
売上高	12,858	3,416	3,521	6,937	8,060	[N.A.]	15,000	2,141	N.A.
営業利益	△ 9	142	204	347	450	[900]	800	809	△100
経常利益	△366	94	194	289	410	[800]	700	1,066	△100
特別損益	△31	-	-	-	-	[-]	-	31	-
当期純利益	△497	44	304	348	250	[600]	600	1,097	-
1株当り 純利益(円)	△10.74	0.97	6.56	7.53	5.39	[12.94]	12.94	23.68	-
EBITDA	1,199	442	516	958	1,140	[2,200]	2,100	901	△100
借入残高	11,383	11,280	11,170	11,170	11,000	[11,000]	11,000	△383	-
D/Eレシオ	1.37	1.42	1.37	1.37	1.33	[1.32]	1.33	△0.04	0.01

# 10年度 販売量等の見通し

※住金小倉、住金直江津、住金鋼鉄和歌山を含む  
 ※見通しは全て概数

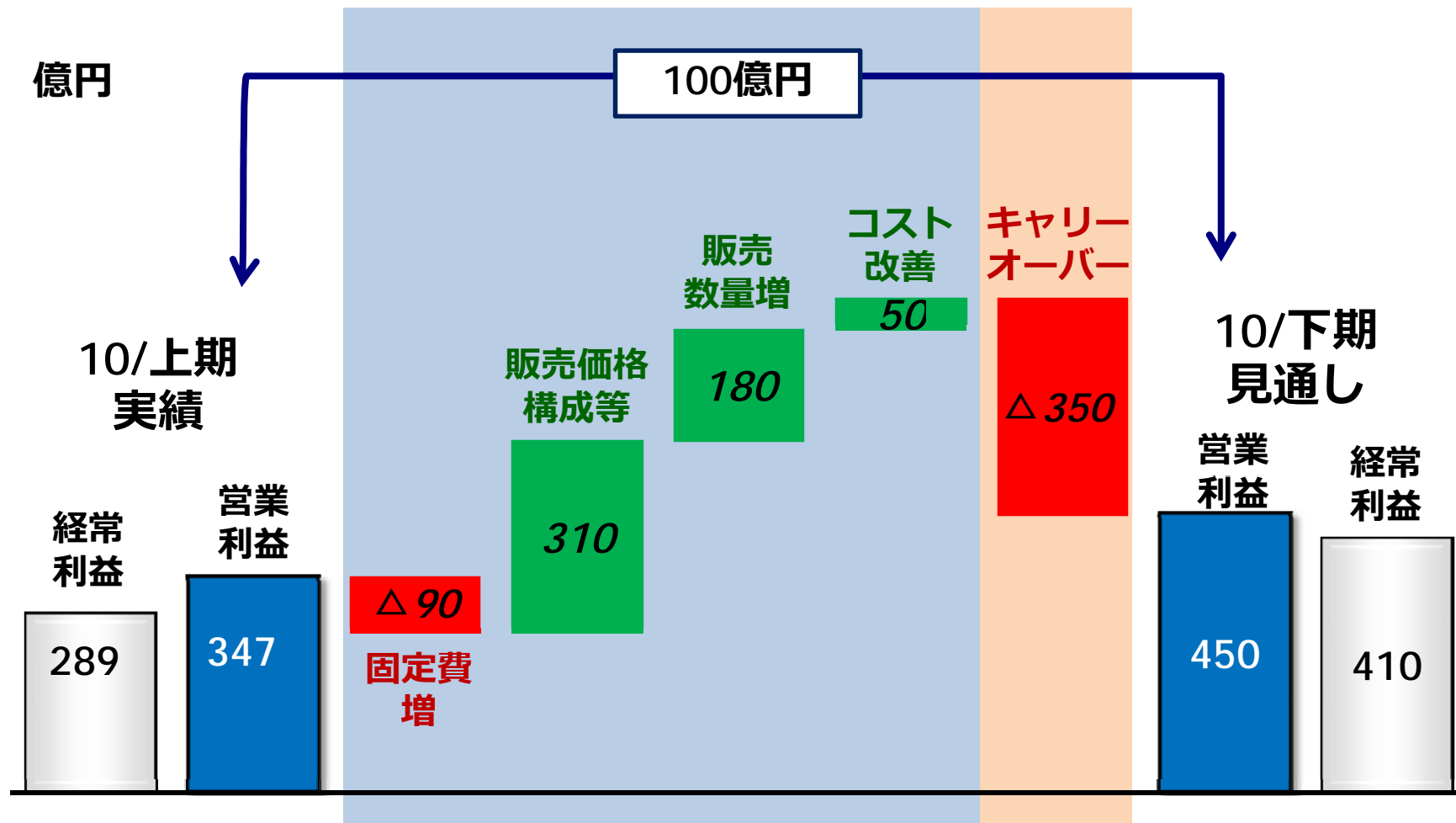
販売数量は、上期に高級化工事があった厚板・大径管を中心に増加

			09年度			上期	下期見通し	〔7/29見通し〕	10年度見通し	09年度増減	
	上期	下期		1Q	2Q						
為替レート (円/\$)	95	90	93	92	86	89	85	[91]	87	6円高	
粗鋼生産量 (万トン)	507	658	1,165	335	343	678	715	[1,390]	1,390	225	
鋼材販売量 (万トン)	451	638	1,089	304	291	595	669	[1,272]	1,264	175	
シームレスパイプ 販売量(万トン)	37	42	79	23	23	46	49	[95]	95	16	
鋼材 平均単価 (千円/トン)	国内	100.7	88.4	93.3	92.7	103.6	98.1	102	[N.A.]	100	7
	輸出	93.0	74.5	82.4	82.3	86.4	84.3	88	[N.A.]	86	4
	平均	96.8	81.7	88.0	87.7	95.6	91.6	95	[N.A.]	93	5

億\$	09年度	上期	下期見通し	10年度見通し
受取	46	25	31	56
支払	△39	△26	△34	△60
外貨バランス	7	△1	△3	△4

# 営業利益増減（10/上期→10/下期見通し）

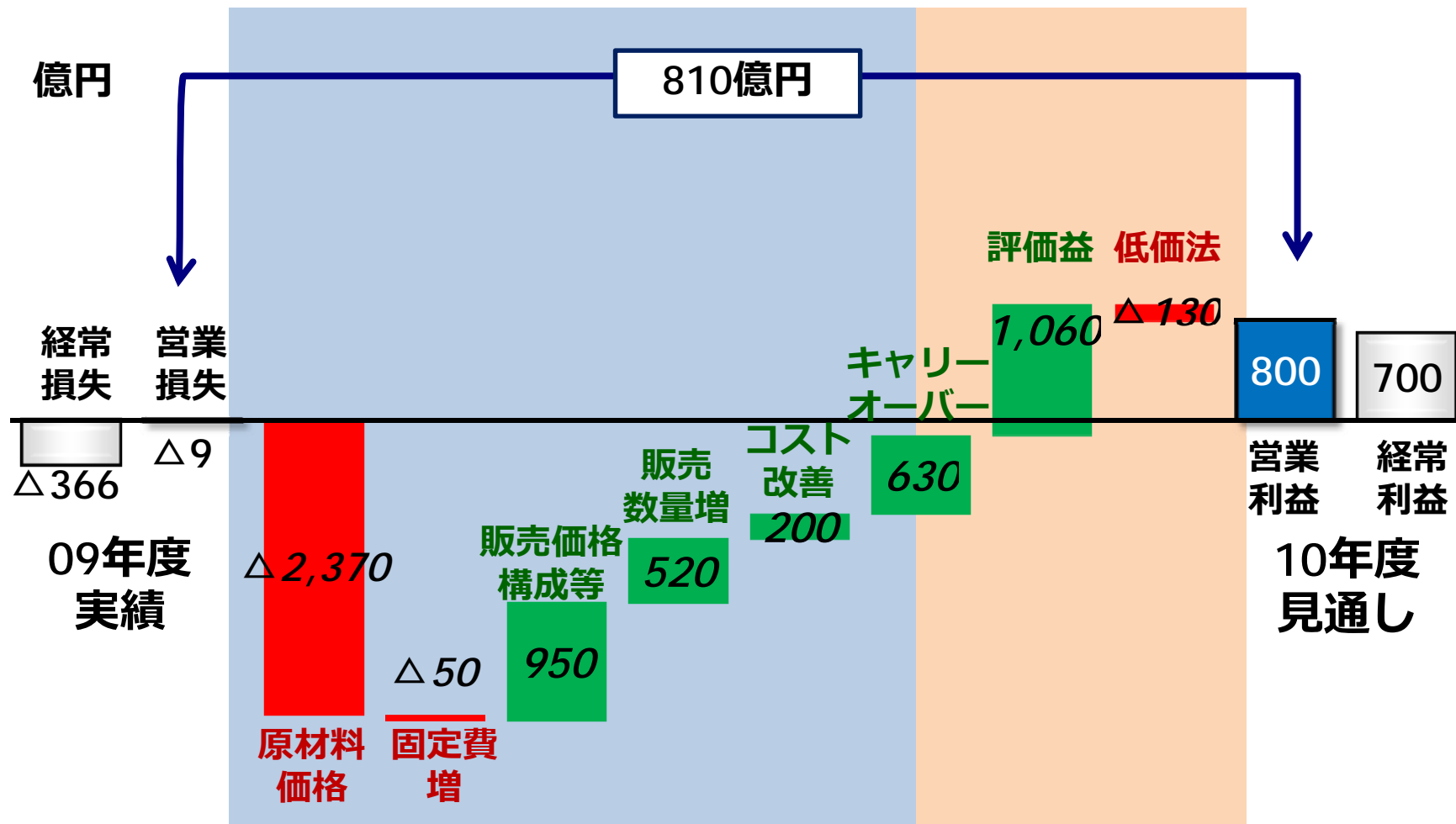
輸出汎用品や建材等の市況品の需給悪化はあるが、販売数量の増加やコスト改善の進展等により、若干の増益を見込む



●持分法損益 <10/上期> 55億円 → <10/下期見通し> 90億円

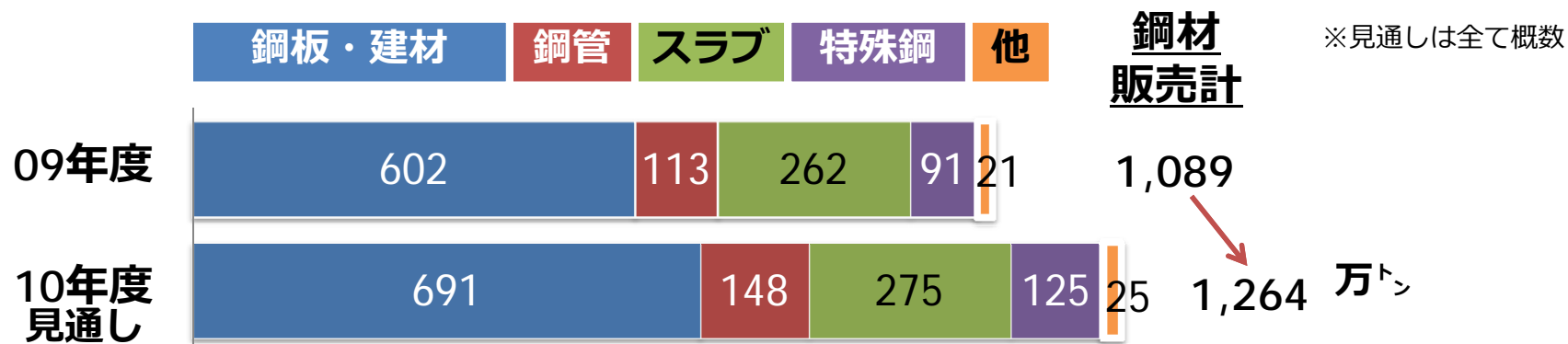
# 営業利益増減（09年度→10年度見通し）

大幅な原材料価格高騰を、販売価格・構成の改善、販売数量の回復、コスト改善等によりカバー



●持分法損益 <09年度> △225億円 → <10年度見通し> 145億円

# 鋼材品種別販売状況



## 下期の見通し

<b>鋼板・建材</b>	<p><b>薄板</b>：製造業向けは国内・輸出向け共、自動車向け主体に堅調</p> <p><b>厚板</b>：建機・エネルギー向けの需要回復により高水準の生産を継続</p> <p><b>建材</b>：内需低迷継続</p>
<b>鋼管</b>	<p><b>シームレス</b>：円高の影響はあるが、販売価格重視の受注方針を継続</p> <p><b>大径管</b>：大型プロジェクト案件受注により数量は回復</p> <p>ハイエンド品の拡販に注力</p>
<b>スラブ</b>	<p>アジア薄板市況影響により、輸出の収益は苦戦</p>
<b>特殊鋼</b>	<p>自動車向け、建機向けとも好調</p>
<b>交通産機品他</b>	<p><b>鉄道車両品</b>：需要は堅調に推移</p> <p><b>クランクシャフト</b>：国内・輸出とも増販基調が継続</p> <p><b>チタン</b>：在庫調整の進展に伴い、販売数量は回復基調</p>



# シームレスパイプ販売の見通し

## シームレスパイプ10年度販売量見通し

95万トン程度

OCTG 長期契約	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要回復に伴い、受注は増加傾向</li> </ul>
OCTG SPOT品	<ul style="list-style-type: none"> <li>リグカウントの増加に伴いマーケットは回復基調</li> <li>ローエンドでは中国余剰能力問題で厳しい状況が続く</li> </ul>
ライン パイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>店売り、プロジェクト向けとも数量は回復傾向</li> </ul>
特殊管	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子力向けは高水準継続、USCボイラの回復は11年度から</li> </ul>
自動車・ 建機他	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要回復に伴い、順調に数量回復中</li> </ul>

リグカウント の状況	08年 平均	09年 平均	最近のピーク		最近のボトム		直近	
米国	1,879	1,089	<100>	(08/9) 2,031	<43>	(09/6) 876	<82>	(10/10/22) 1,669
深井戸 (≥15,000ft)	283	249	<100>	(10/5) 381	<55>	(09/6) 211	<94>	(10/9) 357
北米・露・中 を除く世界	1,079	997	<100>	(08/9) 1,108	<85>	(09/8) 947	<101>	(10/9) 1,120

出所: Baker Hughes, Smith international

# セグメント・カンパニー別売上高等の状況

セグメント・カンパニー別売上高

※見通しは全て概数

億円	09年度			上期	下期 見通し	10年度 見通し	年度 増減
		1Q	2Q				
鋼板・建材	4,985	1,356	1,437	2,793	3,250	6,050	1,065
鋼管	4,729	1,220	1,214	2,435	2,950	5,400	671
交通産機品	866	234	250	485	500	1,000	134
住友金属小倉	1,016	304	367	671	800	1,450	434
住友金属直江津 他	460	130	129	260	300	550	90
鉄鋼セグメント計	12,058	3,246	3,398	6,645	7,800	14,450	2,392
その他	799	169	122	292	250	550	△249
売上高計	12,858	3,416	3,521	6,937	8,050	15,000	2,142

(参考) 鉄鋼セグメント主要カンパニー営業利益 (概数)

鋼板・建材	△40	60	110	170	220	390	430
鋼管	鋼管	160	0	40	40	90	△30
	スラブ	△200	20	△30	△10	△30	160
住友金属小倉	△70	0	20	20	50	70	140

鉄鋼セグメント計	△76	126	184	310	420	730	806
その他	66	16	21	38	30	70	4
営業利益計	△9	142	204	347	450	800	809

## 利益配分に関する基本方針

- 「質」と「規模」のバランスの取れた持続的成長を通じて企業価値を最大化
- 事業が生み出すキャッシュは、企業価値を高める投資に充当
- 投資戦略は以下を基準に実施し、その成果を株主の皆様に還元
  - ➡ 差別化の加速に資する投資であること
  - ➡ 資本コストを上回る便益をあげて企業価値向上に貢献すること
- 配当は安定配当を基本とする

## 財務体質運営指針

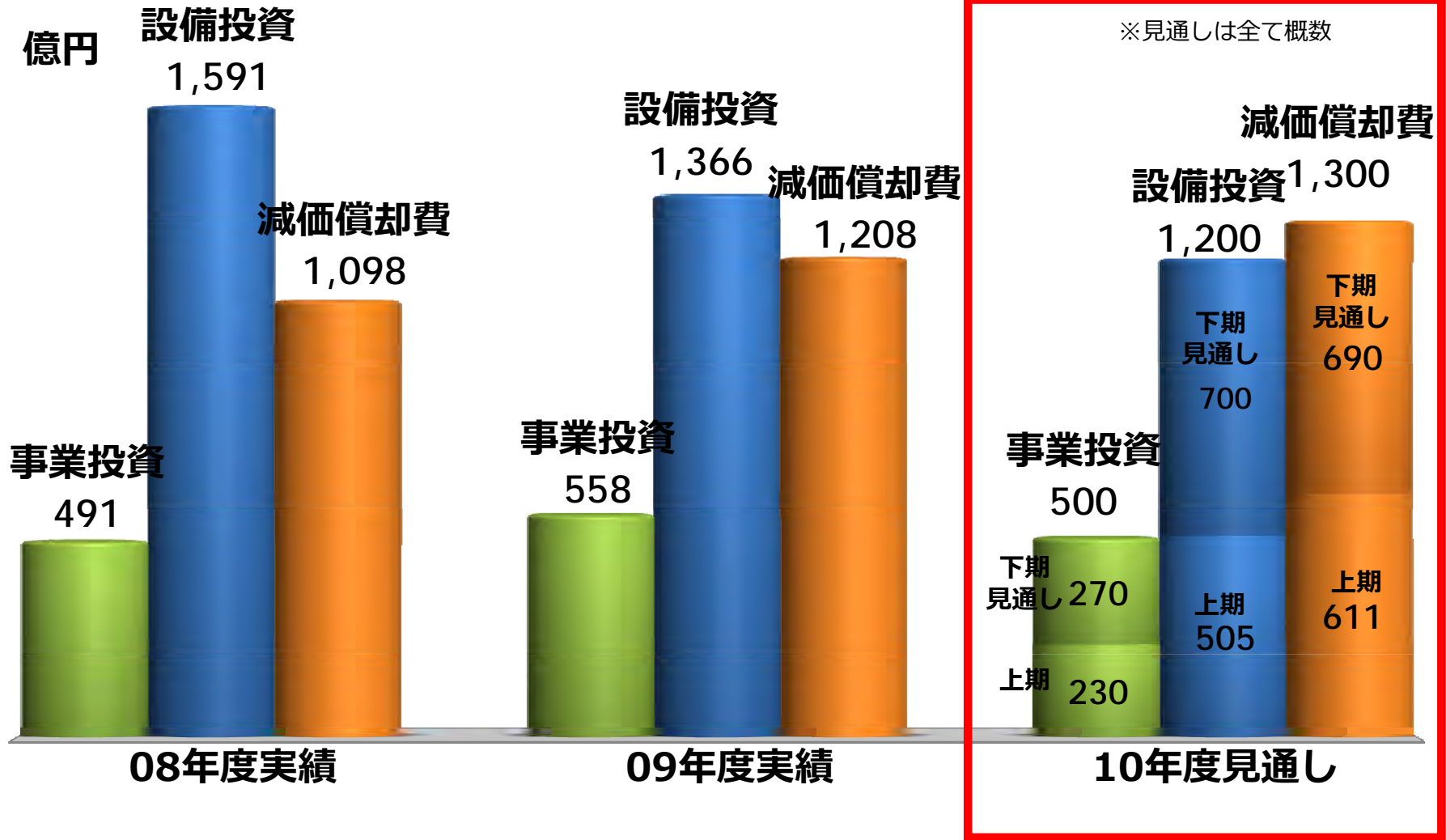
- D/Eレシオで 1.0未満を目標として運営

## 当期（11/3月期）配当予想

- 5円/株（中間配当 2.5円/株, 期末配当 2.5円/株）

# 事業投資・設備投資・減価償却費の見通し

設備投資額は工事ベース  
事業投資額は支払いベース



# 主要設備投資・事業投資の進捗

稼動予定年月で記載		投資額	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14
<b>設備投資</b>								
鋼管	和歌山上工程更新 新第1高炉+環境対応強化等 新第2高炉+CC増強等	1,600 億円 1,150 億円	→ 09/7					
	超高強度ラインパイプ増産	100 億円			→ 11/3			
	原子力発電用SG管増産	140 億円					→ 13/4	
その他	住金小倉製鋼プロセス革新	270 億円			→ 10/10			
	総合技術研究所リニューアル機能強化	100 億円					→ 12/5	
<b>事業投資</b> (*JVの場合の投資額はJV合計額 []は当社出資額)								
鋼板建材	ベトナム薄板JV (CSVC)	*1,150 億円					→ 12年	
	インドブーシャン社 オリッサ PJ " 西ベンガル PJ	技術援助 FS中						→
	タイ カナドイル厚板ミル	[50百万\$]					→ 13年	
鋼管	ブラジル高炉一貫シームレス(VSB)	*2,000 億円					→ 10/3Q	
交通産機	インドクランクシャフト合併	*10 億円			● 10/4			

# CANADOIL GROUP のタイ新厚板ミル建設への 参画と出資について

22

## エネルギー向け等高級厚板の需要は中長期的に成長

- ・ タイで高級厚板を製造することで、鹿島厚板ミルの製造品種構成を、付加価値と収益性の高い高級厚板へさらにシフト
- ・ 両ミルの機能と立地関係を生かした製造品種分担による効率的な製造体制を実現



## 新厚板ミルの概要



- ① 場 所 タイ王国 ラヨン県  
(バンコク南東約100km)
- ② 能 力 約120万トン/年
- ③ 投資額 約600百万ドル
- ④ 完成時期 2013年



左：当社 三木伸一 鋼板・建材カンパニー長  
右：カナドイル社 Mr. Giacomo Sozzi, CEO

## 当社の参画内容

- ① 出資額 50百万ドル  
カナドイルグループの持株会社に出資
- ② 新厚板ミルの運営協力（技術援助を含む）
- ③ 当社厚板販売量 30万トン/年

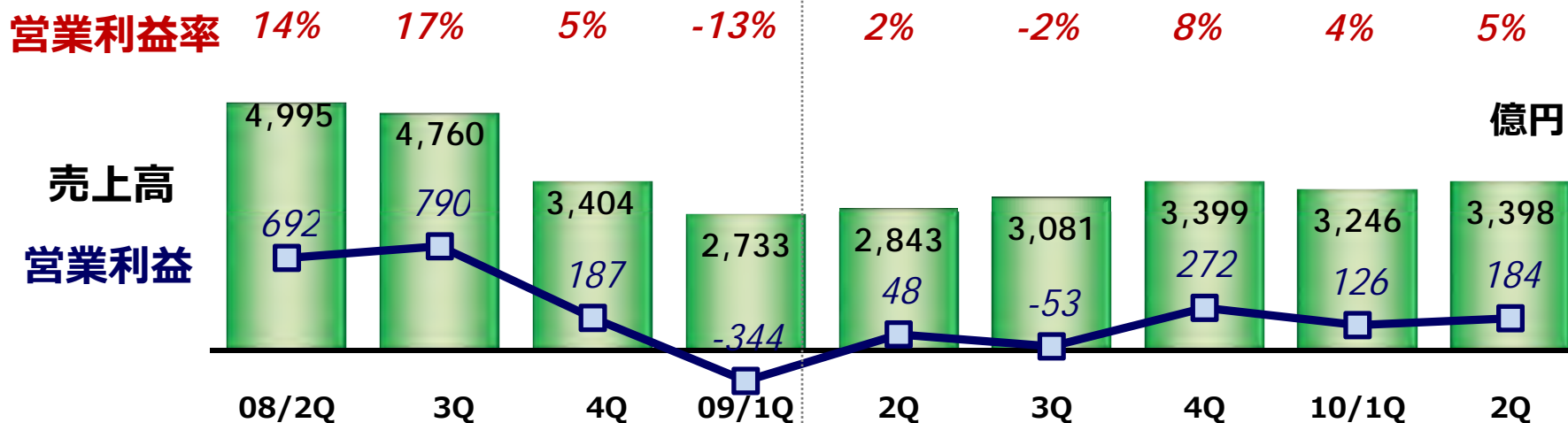


# 參考資料

# セグメント別売上高・営業利益 四半期別推移

億円	08/2Q	3Q	4Q	09/1Q	2Q	3Q	4Q	10/1Q	2Q
鉄鋼	4,995	4,760	3,404	2,733	2,843	3,081	3,399	3,246	3,398
エンジニアリング	30	23	41						
エレクトロニクス	136	95	62						
その他	128	132	110	171	238	178	211	169	122
連結売上高	5,290	5,012	3,618	2,904	3,082	3,260	3,610	3,416	3,521
鉄鋼	692	790	187	-344	48	-53	272	126	184
エンジニアリング	-3	0	2						
エレクトロニクス	-3	-9	-34						
その他	0	9	7	-1	14	22	29	16	20
連結営業利益	686	790	162	-345	63	-31	302	142	204

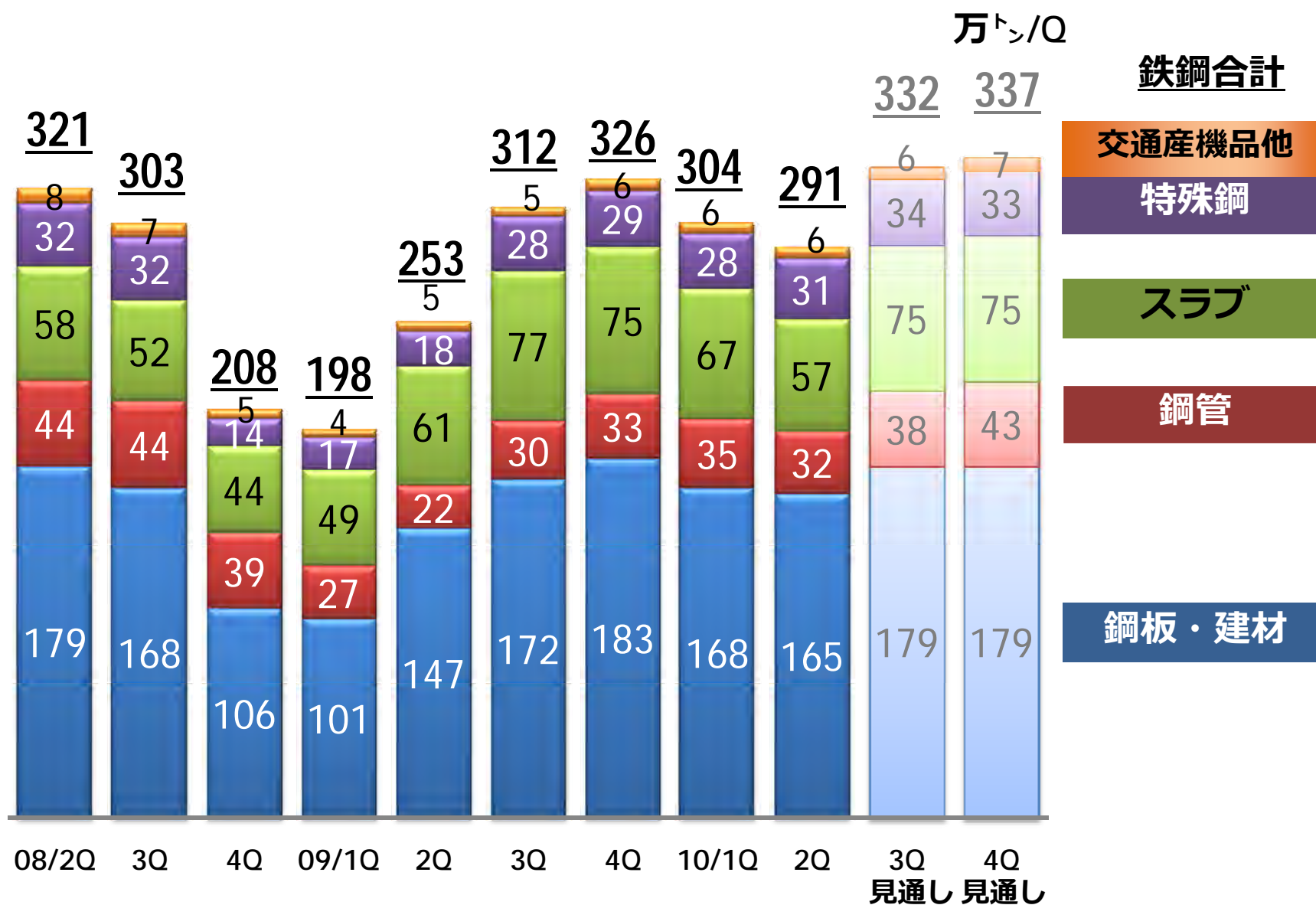
## 鉄鋼セグメント





# 鋼材品種別販売量推移

※見通しは全て概数

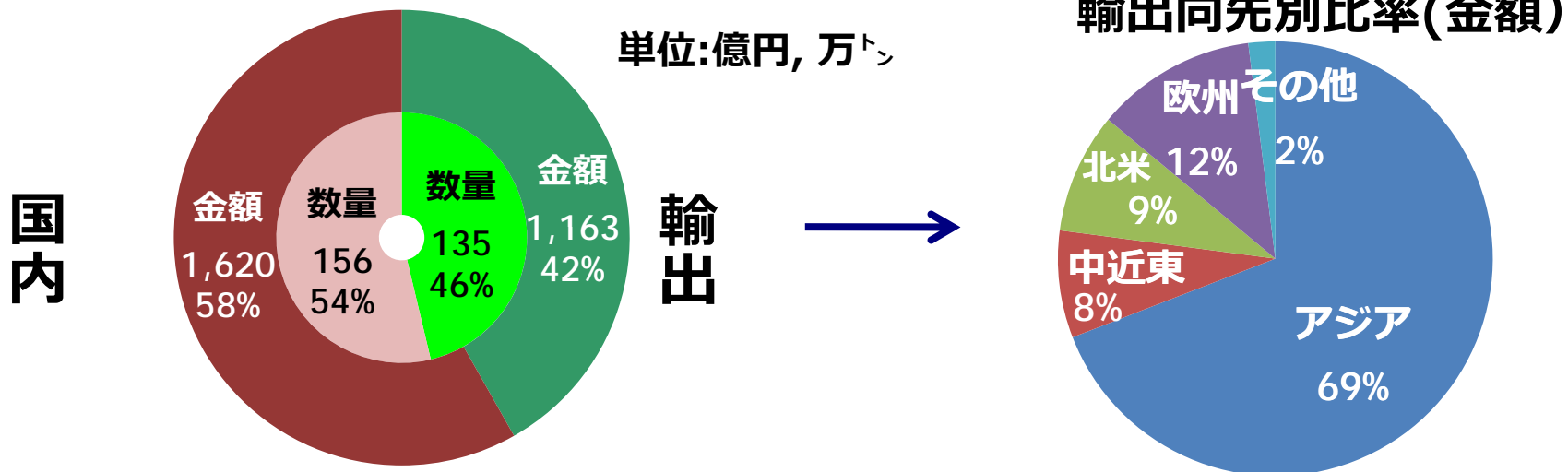


# 10年度 一過性要因の見通し

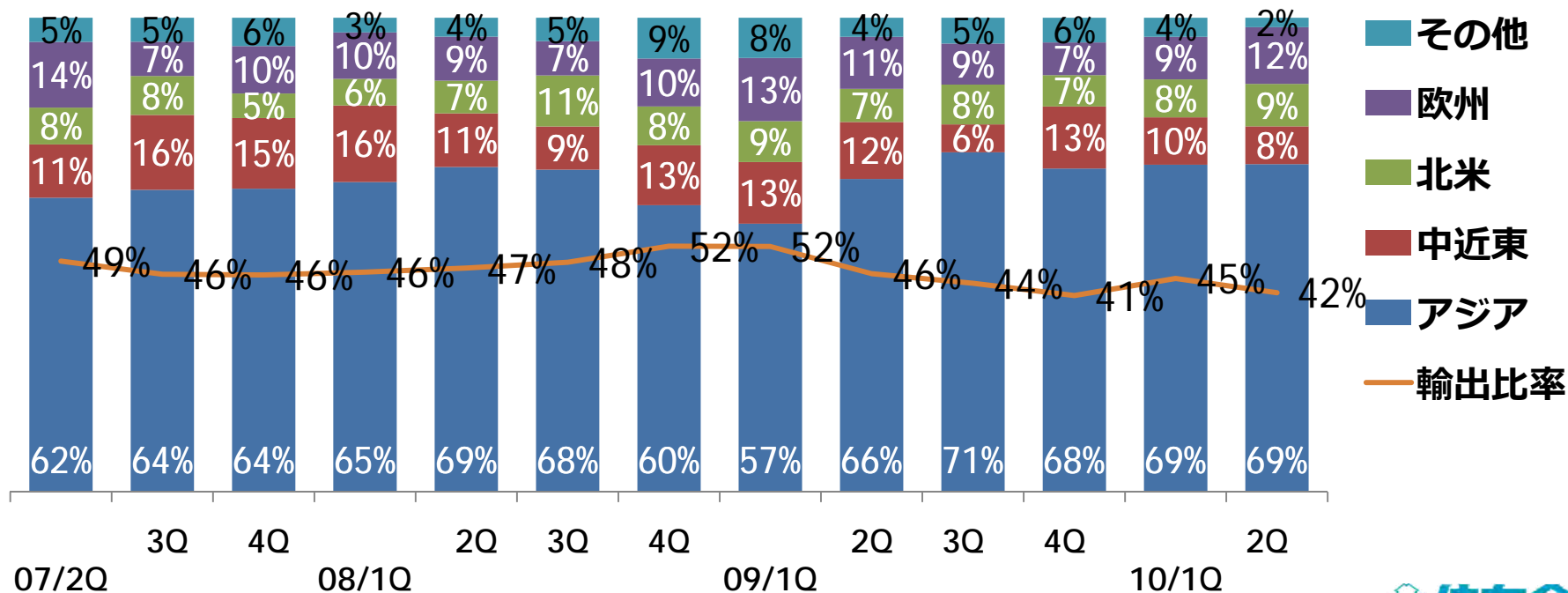
億円						09 年度					10年度 見通し	年度 増減
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		2Q	上期	下期 見通し			
キャリー オーバー	△290	△80	△50	0	△420	190	90	280	△70	210	630	
評価損益	△530	△150	△160	△40	△880	160	40	200	70	270		
原価差額 調整計算	440	△110	△160	△90	80	△90	20	△70	60	△10		
<b>評価損益計</b>	<b>△90</b>	<b>△260</b>	<b>△320</b>	<b>△130</b>	<b>△800</b>	<b>70</b>	<b>60</b>	<b>130</b>	<b>130</b>	<b>260</b>	<b>1,060</b>	
期首戻し	200	450	270	160	200	50	50	50	40	50		
期末適用	△450	△270	△160	△50	△50	△50	△40	△40	△30	△30		
棚卸簿価 (低価法)	△250	180	110	110	150	0	10	10	10	20	△130	
<b>一過性要因計 (概数)</b>	<b>△630</b>	<b>△160</b>	<b>△260</b>	<b>△20</b>	<b>△1,070</b>	<b>260</b>	<b>160</b>	<b>420</b>	<b>70</b>	<b>490</b>	<b>1,560</b>	

\*全て10億円単位概数

# 10/2Q 鋼材 国内・輸出別売上高



## 鋼材輸出向先別比率(金額) の推移



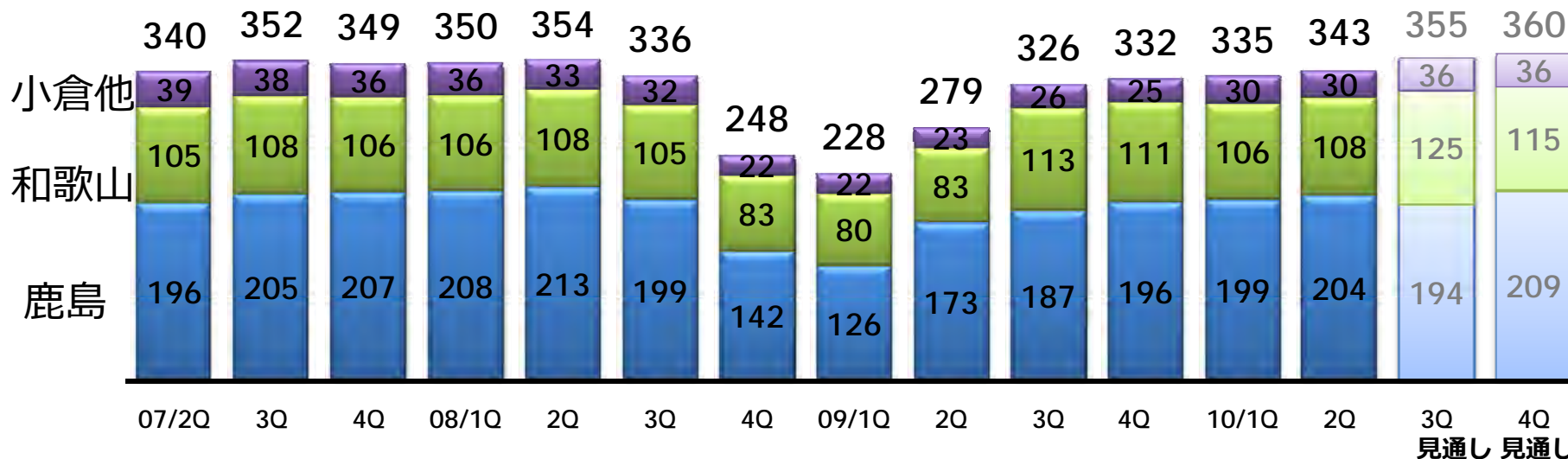
# 参考数値 (1)

※見通しは全て概数

28

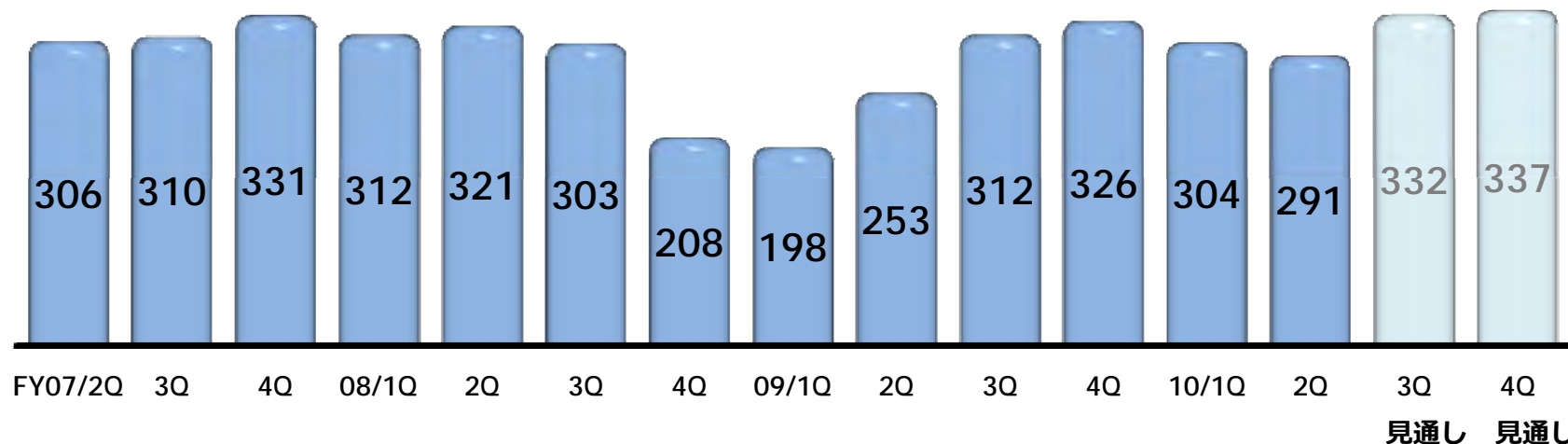
## 当社粗鋼生産量

万ト/Q



## 当社鋼材販売量

万ト/Q

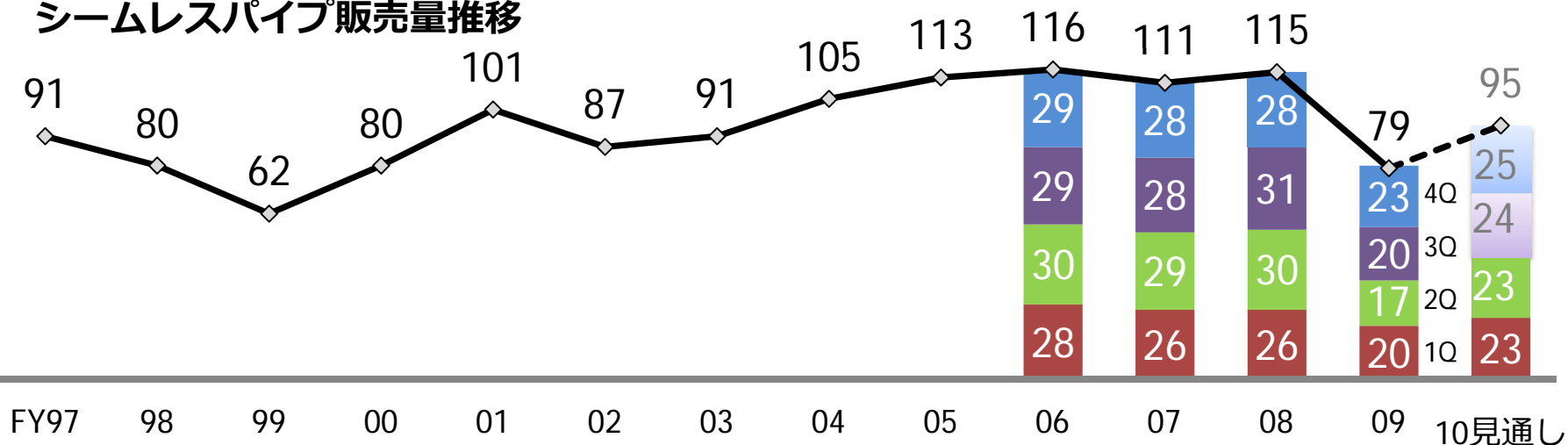


# 参考数値 (2)

## シームレスパイプ販売量推移

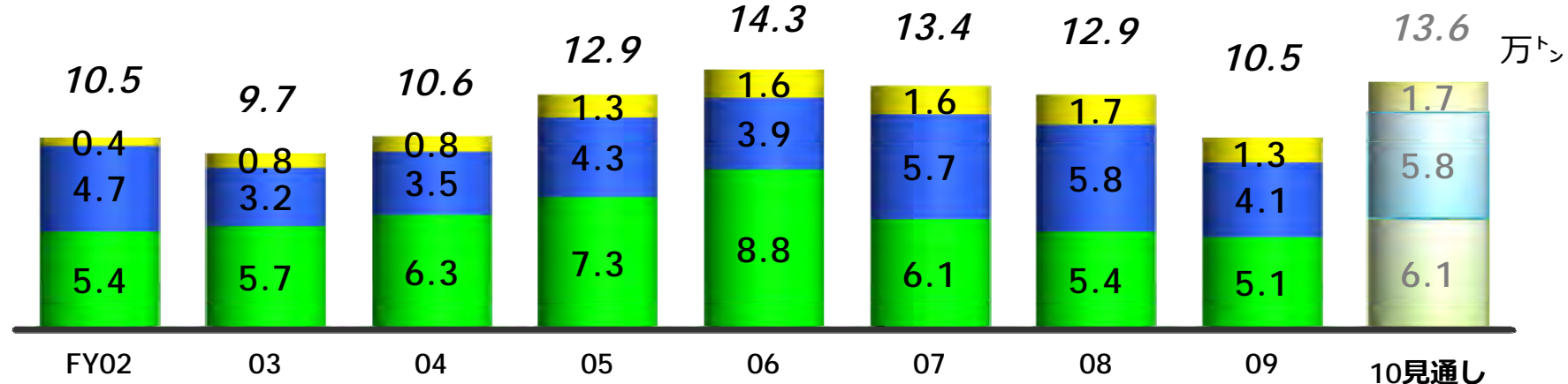
※見通しは全て概数

万トン



## シームレスパイプ スーパーハイエンド品 販売量推移

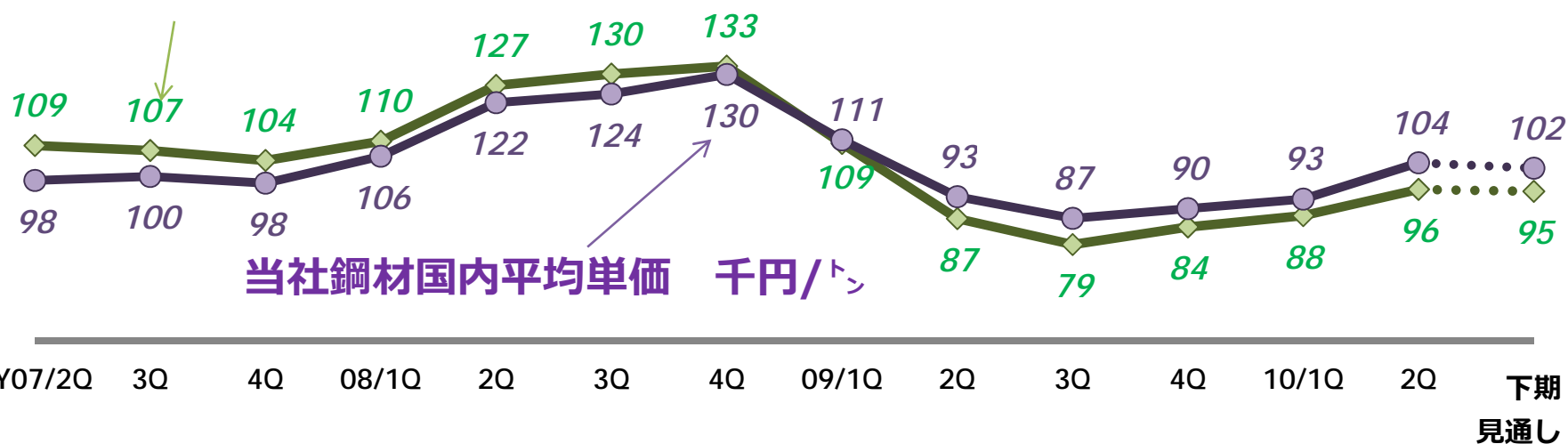
■ 高合金OCTG ■ 耐サワー鋼 ■ 13CR



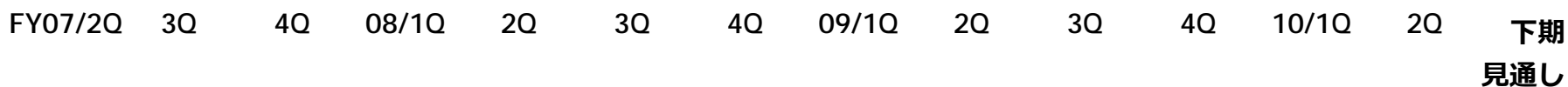
# 参考数値 (3)

※見通しは全て概数

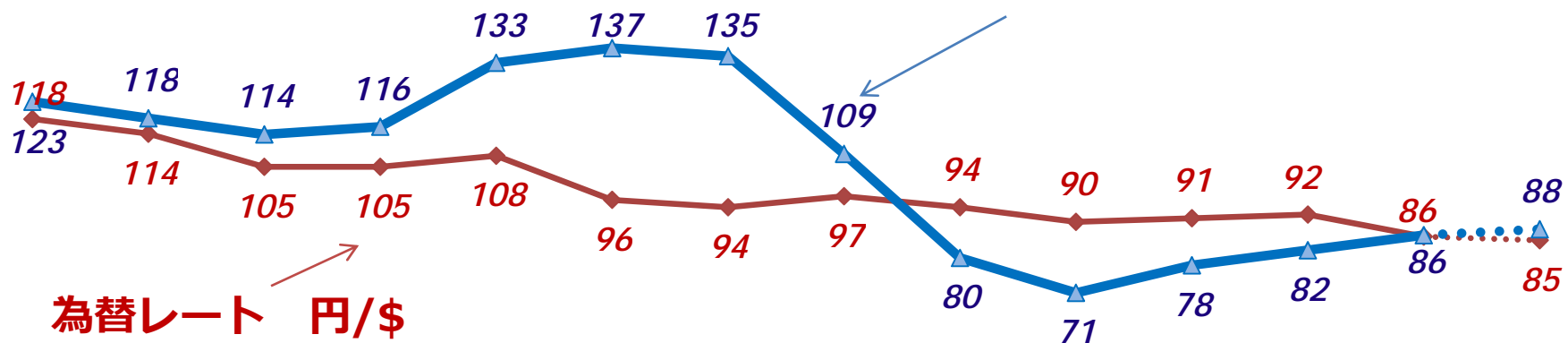
当社鋼材全平均単価 千円/トン



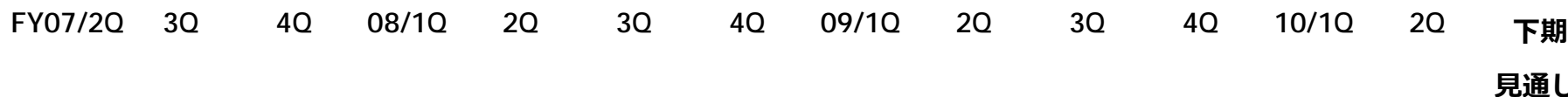
当社鋼材国内平均単価 千円/トン



当社鋼材輸出平均単価 千円/トン



為替レート 円/\$

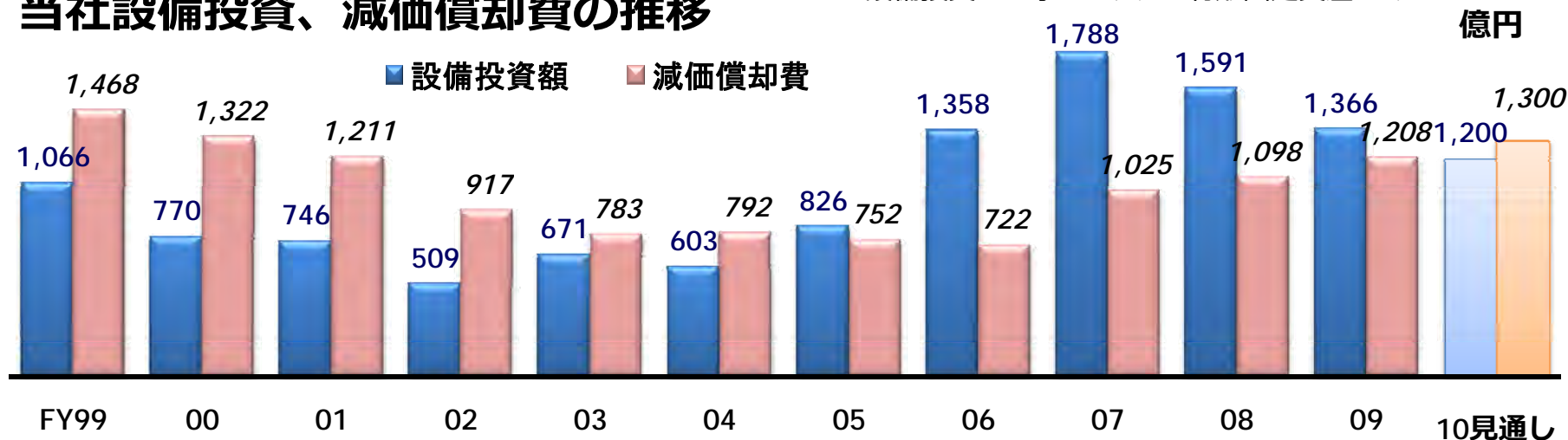


# 参考数値 (4)

## 当社設備投資、減価償却費の推移

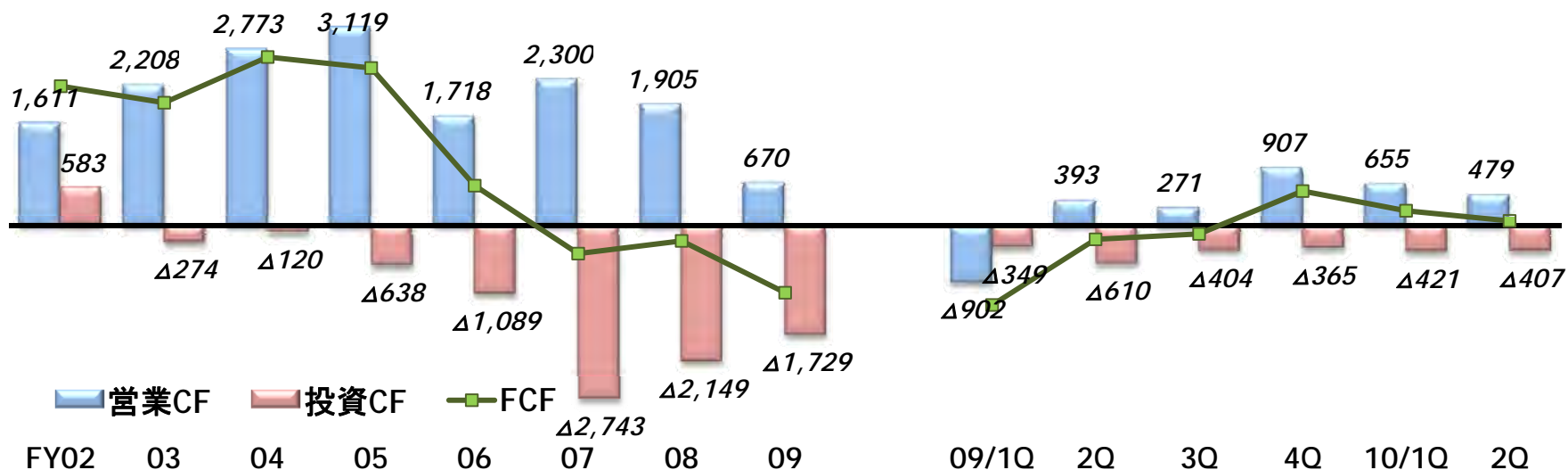
※見通しは全て概数

※設備投資は工事ベース \*有形固定資産のみ



## フリーキャッシュフローの推移

2,194 1,934 2,653 2,480 628 Δ442 Δ243 Δ1,059 Δ1,252 Δ217 Δ132 542 233 72 億円



「質重視」による企業価値の  
持続的向上を目指す



ステークホルダーの皆様から  
信頼される会社へ